

平成28年度、29年度のパイロット事業を基にしたガイドラインの骨子については、以下のとおりとしたい。

ガイドライン骨子(案)

1. はじめに
2. トラック事業を取り巻く状況
 - (1) ドライバー不足の現状、トラックドライバーの労働条件
 - (2) 労働時間を取りまく現状
3. 課題別の取組指針
 - ① 問題の原因、背景
 - ② 対策の紹介
 - ③ 改善事例(典型的な改善事例を1つないし2つ紹介)
4. 各地方運輸局等の問い合わせ先一覧

平成28年度パイロット事業を踏まえた課題の例

平成28年度パイロット事業において抽出された主な課題・対策の例は以下の通り。

主な課題の例	主な対策の例	実施件数
①集荷・配送の経路等の見直しによる全体の拘束時間の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・集荷・荷卸し箇所数の削減 ・集荷と長距離輸送の分離 など 	15
②入出荷情報の事前提供による運行の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・積込み予定時間の事前連絡 ・出荷チェックリストの電子化による事前提供 など 	10
③荷待ち時間の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・予約受付システムの活用 ・予冷库の活用による荷主による荷造りの前日への前倒し など 	8
④荷役作業の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・バラ積みのパレット化 ・荷役場所の集約化、改修・拡張 ・積荷の配送先毎の仕分け など 	22
⑤附帯作業の改善 (検品、ピッキング等)	<ul style="list-style-type: none"> ・重複検品の廃止 ・ピッキングの方法や人員体制の見直し など 	14
⑥施設面の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・入出庫バースの増設 ・倉庫内の保管スペースを見直しによる荷役スペースの拡張 など 	13
⑦その他	<ul style="list-style-type: none"> ・GPS運行管理システムの活用 ・ドライバーごとの拘束時間の見える化による荷主との実態の共有 など 	7